

センター月だより

11月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

・声かけ活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	0	1	1	2
声かけ件数	662	293	240	1195
参加者数	62	32	33	127

(指導日誌より抜粋)

土岐地区

- ・ 駅改札前の階段で女子高生が座って携帯を操作していた。通行のさまたげになるので移動するように話し移動させた。(11/6 特A)
- ・ 暗くなるのが早くなったので、小中学生にはほとんど合わなかった。高校生から「こんばんは」とあいさつをしてくれて、大変うれしかった。(11/11 泉8)
- ・ 駅前のタクシー乗り場付近でたばこを吸っている男性がいた。小柄だったので未成年かと思い、声をかけたら21才だった。吸いがらをちゃんと処理するようにお願いをした。(11/20 特B)
- ・ 暗くなって子どもたちに出会わなかったが、児童館やウェルフェア土岐で子どもたちの様子を聞くことが出来た。今後の活動に活かしていきたい。(11/22 妻木3)
- ・ 公園で遊んでいた小学生の子どもたちに、早めに帰宅するように声かけをした。(11/28 下石2)

多治見地区

- ・ 南姫中学校で行われた南姫校区スポーツミニフェスタの終了後に巡回。雨が降り出したため、人通りが少なかった。公民館で数人の生徒たちが迎えの車を待っていたので声かけをした。(11/3 南姫9)
- ・ 18時からの巡回で、子どもたちに会うことが少なかった。そのため、次回から下校時刻に合わせて活動することに決めた。(11/5 小泉5)
- ・ 暗くなる前に急いで帰る小学生に声かけ。元気な声が返ってきた。駅北口のトイレ前に数名の高校生がいたが、他は、暗くなってきて子どもたちの姿を見かけなかった。(11/9 共栄3)
- ・ 校内の生徒たちに声かけし、様子を見ながら小中学校を巡回。声かけすると子どもたちが元気に返してくれるのでほっとします。コンビニやドラッグストアに子どもたちはいなかった。(11/9 北栄11)
- ・ 溪雲寺お薬師祭りでは会場を巡回した。中学校の卒業生に声かけ。元気な様子だった。(11/9 笠原13)
- ・ 養正公民館付近は道幅が狭い。高校生と小学生の下校方向が逆で、車や自転車が通ると危険である。小学生、中学生、高校生のあいさつはとても気持ちが良い。(11/21 養正1)
- ・ 北陵中、東進ゼミナール北部校周辺を巡回した。北陵中サッカー部や少年サッカーの練習の様子を見てまわった。(11/21 根本10)
- ・ 寒くなり小学生の下校がいつもより早かった。元気なあいさつで元気をもらった。(11/21 脇之島12)

- ・ 18 時過ぎ、遊び帰りの小学生のグループに早く帰るように声かけした。セガやピアゴで、高校生たちにも声かけした。返事が返ってきたが、一部の生徒はゲームや話に集中していた。(11/21 池田 6)

瑞浪地区

- ・ 雨のため車で、旧レジャック、化石公園を含めて巡回した。旧レジャックの地下は注意が必要かと感じた。(11/3 瑞浪 B)
- ・ 小学校の校門前で下校中の子どもたちに声かけ。とても元気な声が返ってきた。帰路につくと、中学校も早帰りのようで、中学生にも声かけが出来た。(11/8 釜戸 G)
- ・ 今年一番の寒気の入り込みで、夕方から大変寒くなった。パロー中央店裏の 19 号地下通路に下校中の生徒が 3 人いた。灯りは点いているが、20 時近くに通るには少し危険を感じた。(11/11 日吉 I)
- ・ 生徒会や学級委員と共に多人数での「あいさつ運動」でした。大きな声であいさつを返してくれるとお互いに気持ち良いのですが、小さな声も多く、気長に続けて行こうと思います。(11/12 陶 E)
- ・ 雨天のため車で巡回。駅付近で信号待ちの子どもにも声かけ。パロー裏の 19 号地下通路の落書きはきれいに消されていたが、吸い殻やゴミが多かった。(11/25 瑞浪 A)

センターから

- ・ 10/15 発行の『月だより』で「気になる廃屋等の確認」についてお願いしましたが、今回指導日誌で瑞浪 19 号沿いの旧レジャック(ゲームセンター)について報告がありました。瑞浪交番に確認しましたが、今のところ問題発生はないようです。今後とも注意していきたいと思えます。他の班でも、廃屋に限らず、気になる情報がありましたらセンターまでご連絡ください。
- ・ 11 月の「子ども・若者育成支援強調月間」については、11/9 の多治見駅前の啓発活動の後、11/18 土岐市では、土岐市駅前で増田教育長のあいさつの後、土岐商業高等学校の生徒たちが多数参加して啓発活動が実施され、グッズが配布されました。また 11/22 には瑞浪市で、駅前、ピアゴ、パローの 3 ヶ所で啓発活動が行われ、水野市長も巡回されました。この内、少年センターはピアゴでの活動に参加し、麗澤瑞浪高等学校の生徒たちと一緒にグッズを配りました。参加されたみなさん、ありがとうございました。強調月間は終わりましたが、子ども・若者の育成支援のため、今後とも声かけ活動をよろしくお願ひします。

人間の心にとって自然になじむもの



「生まれながらにして肌の色や出身や宗教を理由に他人を憎む人は誰もいない。憎しみは後から学ぶものであり、もし憎しみを学ぶことができるなら、愛することも教えられるはずだ。愛はその反対の感情よりも、人間の心にとって自然になじむものだから」

* * *

元南アフリカ大統領ネルソン・マンデラ氏のことば。12月5日、95歳で逝去。27年間の刑務所収監の後、91年、当時の大統領デクラーク氏と民主化に向け協力し、アパルトヘイト関連法を撤廃。全民族融和の象徴と称された。国や出身が違っても、学ぶことは多いと思ひます。